

PRESS RELEASE



報道関係各位

2026年1月14日

BYD Japan Group 広報部

BYD、2025年の年間国内新車販売実績と今後の展開を発表

- 2026年は「新エネルギー車元年」と位置づけ、フルパワーで販売を加速
- 2025年（1～12月）の販売台数は3,742台（前年比+68%）で3年連続の成長を達成
- 2025年4月発売のBYD SEALION 7が販売を大きく牽引
- 2026年も新車販売、正規ディーラー網の拡充などで国内事業展開を加速



BYD Auto Japan 株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：東福寺 厚樹、以下：BAJ）は、1月9日（金）、幕張メッセ（千葉・幕張）で開催された東京オートサロン2026のプレスカンファレンスで、2025年の振り返りと今後の展開などについて紹介。BYD 乗用車の2025年（1月～12月）国内登録台数※が3,742台（対前年同期比+68%：乗用車のみ）となり、3年連続しての成長路線を維持したことを発表しました。

※1 JAIA（日本自動車輸入組合調べ）

■ BYD Auto Japan 株式会社 代表取締役社長 東福寺のコメント

「3年連続しての成長は、日頃からBYDをご愛顧いただいている全国のBYDオーナーとBYDのビジネスパートナーの皆様のお陰であり、心から感謝と御礼を申し上げます。今年、BYD Auto Japanは、電気自動車とプラグインハイブリッドによる「新エネルギー車元年」と位置づけました。

今後は積極的な新車攻勢で、多くのお客様に身近なe-モビリティをご提供するとともに、安心してい

ただけるディーラーネットワークの拡充を図り、日本の脱炭素社会の実現に向けた貢献と、皆様から信頼されるブランドを目指して努力してまいります。」

■今後の事業展開について

BAJは、2026年上半期に、「BYD DOLPHIN（ビーワイディードルフィン）」および「BYD ATTO 3（ビーワイディーアットスリー）」、コンパクトSUV 2モデルのアップデートを行い、順次、市場に導入していく。さらに今夏には、軽EVの「BYD RACCO（ビーワイディーラッコ）」を導入。

26年後半に向けては、コンパクトSUVの「BYD ATTO 2（ビーワイディーアットツー）」、ステーションワゴンの「BYD SEAL 6（ビーワイディーシールシックス）」といった2モデルの新型車の導入を表明しました。なお、各モデルの詳細は、順次発表する予定です。

【BYD Auto Japan 株式会社について】

BYDの日本法人 BYD JAPAN 株式会社の100%出資子会社として設立したBYD Auto Japanは、日本のBYD製乗用車の販売およびサービスを専業に行う会社です。

社名	BYD Auto Japan 株式会社（英名：BYD Auto Japan Inc.）
本社所在地	神奈川県横浜市神奈川区金港町1番地7 横浜ダイヤビルディング19F
事業内容	BYD 製乗用車の販売、アフターセールスおよびその他関連業務
代表取締役社長	東福寺 厚樹

販売ネットワークの準備状況は、WEBサイト（URL：<https://byd.co.jp/e-life/dealer/>）をご参照ください。

【BYD グループとは】

BYDグループは、中国・深圳に本社を置くグローバル企業であり、環境に優しい世界を追求するためのイノベーションを提供しています。1995年にバッテリーメーカーとして創業したBYDは現在、ITエレクトロニクス、自動車、新エネルギー、都市モビリティといった多様な領域で事業を展開しています。特に自動車分野では、現在6大陸、100以上の国と地域、400以上の都市で電気自動車を展開しており、独自の技術で開発したブレードバッテリーやe-Platform 3.0といった最先端のテクノロジーを強みにしています。また、世界的に高まりつつあるEVシフトに先駆け、新エネルギー車（EV、PHEVを含む）の生産を積極的に進めたことで、世界でもトップランナーとしての躍進を始めています。

※本リリースの掲載内容は画像を含め、2026年1月14日（水）現在の情報です。内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。
以上

本件に関するお問い合わせ：

BYD Japan Group お問い合わせフォーム：<https://byd.co.jp/contact/>